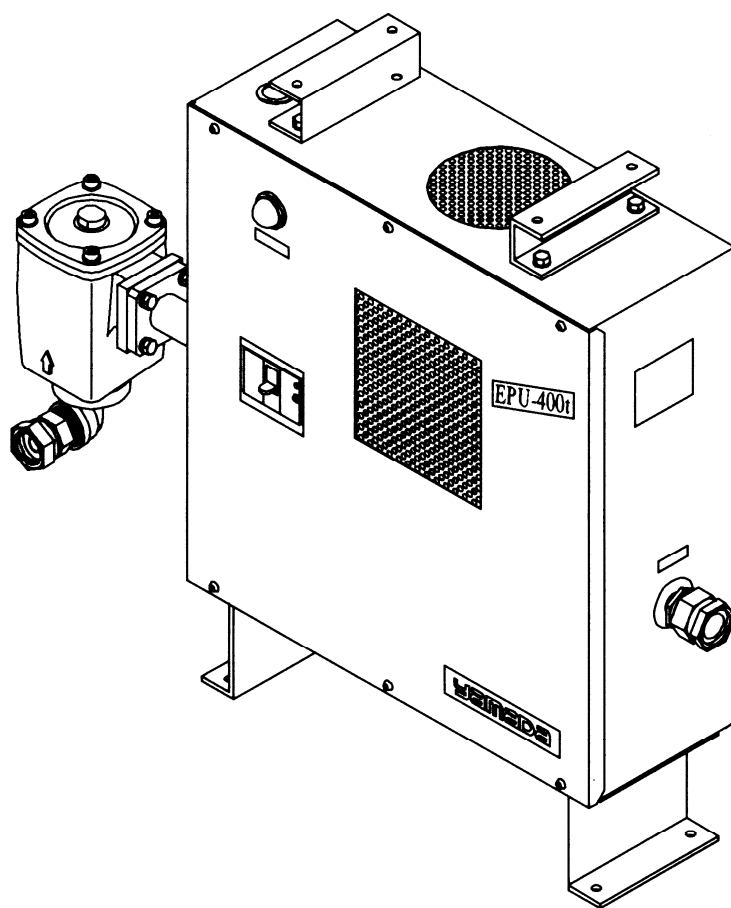


取扱説明書

電動ポンプユニット

EPU-400t MODEL No. 881010

EPU-750t MODEL No. 881011



警告

安全のため、本機のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要事項を良く理解してください。
お読みになった後は、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

－ はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、本製品を安全に正しくかつ効率的にお使いいただくための重要な事項を記載しています。本製品をお使いになる前に本書を熟読し、特に本書の冒頭の「警告・注意事項」の項をよくお読みになり、ご理解された上でお使いください。なお、本書は本製品をお使いいただく際にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

－ 使用目的

本製品は、3 相 AC-200V（50/60Hz 共用）を用いた電動式ポンプです。ご使用になれるオイルはエンジンオイル、工業用オイルの新油オイルです。廃油などに使用する場合はお買い上げの販売店または弊社営業所までご連絡ください。

－ 製品保証登録 FAX 送信のお願い

このたびは弊社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。弊社では、PL 法に基づき製品の欠陥によるクレーム・事故などの保証、アフターサービスの徹底、更にお客様の声を製品改良に生かすなどに『ご愛用者登録』による保証制度を採用しております。この FAX はお客様とヤマダをつなぐ大きな架け橋となるものです。ついては、本書巻末の『13. 製品保証登録 FAX シート』に必要事項をご記入の上、弊社宛てに必ずご送信していただくようお願い申し上げます。弊社にて受信後、顧客データベースに登録の上、本書に記載の保証と共に PL 法に基づく責任を履行させていただきます。

尚、FAX のご返信がない場合、及び記入事項に漏れなどがある場合、もしクレームなどが発生してもご使用者・使用製品の追跡が不可能となり、保証期間中においても保証の対象とならない事もございます。

必ずご購入後一ヶ月以内に返信ください。（本制度は日本国内のみ有効）

－ 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。



警告： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、及び物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 使用上の注意

下記の警告事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

・ 本製品の取扱いについて

警告



- 本製品はエンジンオイル、工業用オイルの新油移送ポンプです。オイル以外の材料を使用しないでください。第一種有機溶剤及び第二種有機溶剤、ガソリンなどの揮発性の高い有機溶剤を移送するとポンプの故障や配管からの漏れが生じ、吸引及び服用した場合、重傷または死亡の原因となります。



- 本製品を設置するときは必ず各製品の指定箇所からアース線を設置してください。アース線を設置しない状態で本製品を運転しますと摺動部や、移送材料の種類によってはケーシング内を流れる際の摩擦により、静電気を発生する可能性があります。移送材料または設置場所の環境（雰囲気や周囲の設置物など）によっては火災、感電の原因となります。



- 不適当なアースの設置や換気不足、本製品の近くの裸火や火花は非常に危険な状態を引き起こし、火災や爆発事故の原因となりますので、必ず下記の内容に従ってください。

- * 装置を構成している機械、配管類は全てにアース線を設置してください。
- * 本製品の作動中にスパークを感じた場合はすぐに停止し、確認の上原因がはっきりするまで使用しないでください。
- * 移送材料の種類により、可燃性の雰囲気が発生することがありますので、換気を充分に行ってください。
- * 作業現場にはガソリンや材料を含んだウエスなどを放置しないでください。
- * 本製品の設置場所付近にある機械装置は、互いに通電しないように絶縁処置を行ってください。
- * 作業現場内には、火気及び白熱灯などの加熱するような電気機器を持ち込まないでください。
- * 可燃性の雰囲気中及び材料移送中に電気機器のスイッチを入り切りしないでください。
- * 作業現場内は禁煙としてください。

注意



- 本製品に使用する構成部品は、必ず弊社の純正部品を使用してください。構成部品の追加工や純正部品以外との部品交換は絶対行わないでください。



- 本製品を作動させるために使用する電圧について下記のものをご使用ください。

* 3 相 AC-200V

上記以外の電圧を使用した場合、本製品の故障や火災の原因となります。



- 本製品を設置するときは、本製品と設置箇所（地上や壁）に必ずアンカーボルトで確実に固定してください。転倒などによる衝撃を与えた場合、本製品の破損や漏電の原因となります。



- 本製品を移動する際は、本製品の電圧を切ってから運搬してください。電圧が掛かったまま運搬を行い、転倒などによる衝撃を与えた場合、本製品の破損や漏電の原因となります。



- 本製品について異常が見られた場合は、お客様自身での分解及び修理などはせず、お買い上げの販売店または弊社営業所まで修理を依頼してください。お客様自身で分解及び修理を行い、製品にさらなる異常が発生した場合、材料の種類によっては大変危険な状態となります。



- 吐出側の開閉弁（バルブ、定量機、ガンなど）を閉じたまま本製品のブレーカーを OFF にすると、移送するための圧力がそのまま残ります。この状態でバルブを開けると、瞬間的に材料が吹き出しますので材料吐出口を人に向けてないでください。けがや事故の原因となります。また、長期間運転しない場合は必ず配管中に残圧が掛からないよう、開閉弁を開いた状態にしてください。

 注意

- 本製品は運転を中断し接続している配管を外すと製品の機構上、内部に材料が残留していることがあります。また、長期間運転しない場合においても本製品及び接続している配管内に材料が残留していることがありますので、材料を排出してから保管してください。



- 作業終了後及び夜間・休日には必ず本製品のブレーカーを OFF にし、配管内の圧力を抜いてください。ブレーカーを OFF にせず配管内に圧力がかかったままですと、パッキン、配管類の破損等により材料が漏れ、施設を汚染させるなどの二次災害が起ることがあります。二次災害については、使用者側の責任になります。

・ その他

 注意

- 本製品を使用して危険な材料（第一種有機溶剤、第二種有機溶剤、ガソリンなどの揮発性の高い溶剤）を誤って移送した場合を考慮して、保護処置（ピット、保護箱の設置、センサーによる検知など）を行うと同時に必要箇所に警告表示を行ってください。（[14. 警告表示マーク]をコピーして配管などに貼り付けてください。）オイルの流出は、火災、雰囲気汚染など、大きな事故の原因となります。高温の材料を移送する場合は、配管などが熱くなり触れるとやけどすることがあります。



- 本製品をお使いになる前に、移送する材料に関する注意事項を熟知し、そのオイルに対する成分を必ず確認してください。材料の成分が合わない場合及び爆発の危険を含んだ材料には、絶対にお使いにならないでください。また、使用する材料についてご不明な点がございましたら、お買い上げ販売店または弊社営業所までお問い合わせください。

<NOTE>

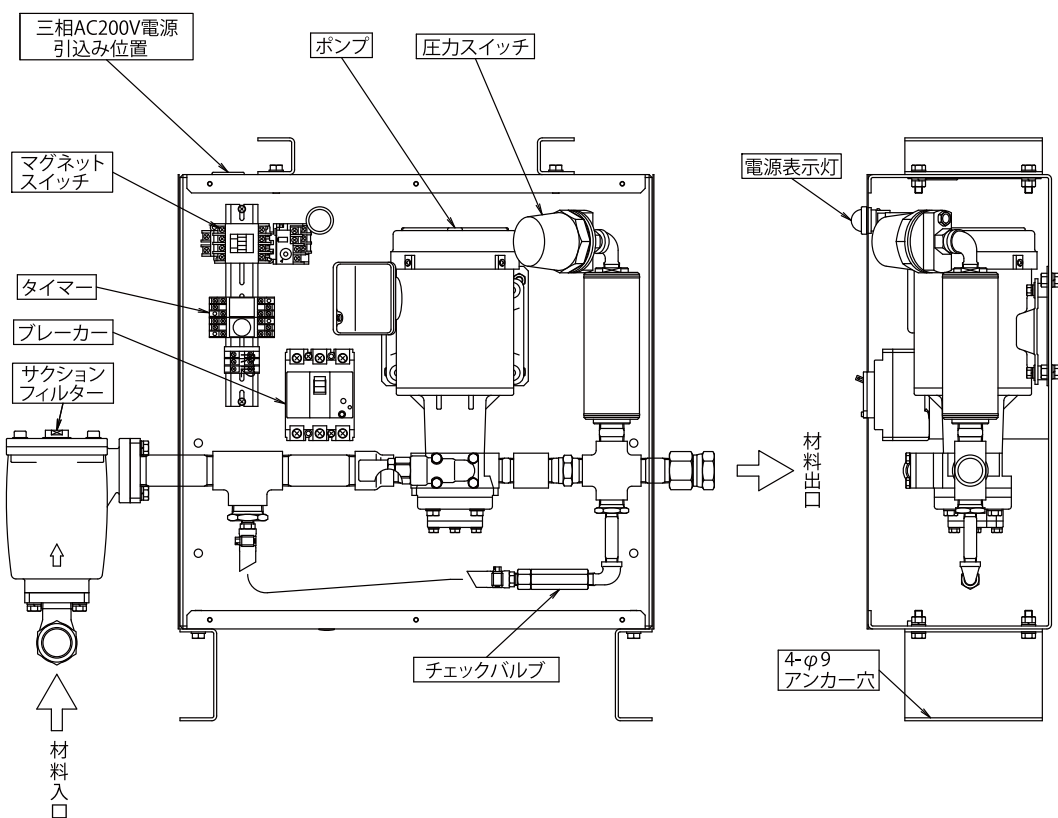
- ・ 材料については関連する消防法、労働安全基準法などの法令に従ってください。
- ・ 本製品の使用（接続方法や設置方法）にあたりご不明な点がございましたら、お買い上げ販売店または弊社営業所までお問い合わせください。

目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 製品保証登録 FAX 送信のお願い	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称と機能	1
2. 作動原理	1
3. 設置	
3.1 運搬方法	2
3.2 本製品の設置	2
3.3 アース線の設置	3
4. 接続	
4.1 本製品の口径	4
4.2 材料配管	4
5. 操作	
5.1 運転前準備	5
5.2 運転操作	5
5.3 流量調整	5
5.4 運転停止	5
5.5 圧力の抜き方	5
6. 保守・点検	
6.1 サクションフィルターの清掃手順	6
6.2 困ったとき	8
7. 分解・組立	9
8. 故障時の返品方法	
8.1 FAX シートの使用方法	9
8.2 返品前に	9
9. 本体仕様	
9.1 主要諸元	9
9.2 外観寸法	10
10. 部品構成図・パーツリスト	
10.1 電動ポンプユニット	11
10.2 ポンプ組立	12
11. アクセサリー	
11.1 オイル用コントロールバルブ	13
11.2 ノズル	13
11.3 液面コントロール機器	13
11.4 オイル用ホースリール	13
11.5 サクションホース	13
11.6 補修用部品	13
12. 不具合内容 FAX シート	14
13. 製品保証登録 FAX シート	15
14. 警告表示マーク	16
15. 保証規定	17

1. 各部の名称

★ 下図は本製品の前面、ボックスの蓋を外した状態で各部の名称を表しています。外観寸法に関しては「9.2 外観寸法」をご参照ください。



2. 作動原理

本製品は、圧力スイッチ及びタイマーにより、モーター（ポンプ）を制御しています。吐出側のバルブ（オイルガンなど）を開き、配管内の圧力が開放されると、モーターが作動しポンプによりオイルを移送します。吐出側のバルブを閉じ、配管内の圧力が上昇すると、圧力スイッチが働きモーターが停止します。また、流量が少ない時の、圧力スイッチのチャタリング（ON⇔OFF）によるポンプの作動不安定さを防止するために、タイマーにてポンプの停止を遅延させています。

<NOTE>

- ・タイマーは通常 1 分間に設定されていますが、少流量の調整を頻繁に行う場合はタイマー設定を長め（最大 3 分間）に変更してください。

なお、タイマーの設定を行う場合は、必ずブレーカーを OFF にして行ってください。

3. 設置

3.1 運搬方法

- ★ 本製品を運搬する際には本製品をロープなどでパレットと固定した状態で運搬してください。
- ★ 「9.1 主要緒元」を参照して本製品の重量を確認し、持ち上げるときは充分注意してください。

 注意	
	- 本製品を固定しない状態で運搬すると振動による倒れ、落下する恐れがあり、けがをする可能性があります。本製品をロープなどで確実に固定した状態で運搬を行ってください。
	- フォークリフトや台車を使用して移動する場合は、本製品が転倒しないように注意してください。周りの方のけがや、ポンプの故障原因となります。
	- 本製品に接続したホースを引っ張って移動することは絶対に行わないでください。本製品やホースの破損原因となります。

3.2 本製品の設置

- 1) Fig. 1 の A～C を参考に本製品を設置する適切な場所を検討してスペースを確保してください。

<NOTE>

- ・ 本製品は 200V の電圧を用いる屋内専用の電動式オイルポンプです。設置する場所が屋内であっても、本製品に水や雨などが絶対に掛からない場所を選定してください。
- ・ 設置する際には屋内の地面から 600mm 以上で吸込揚程を考慮した位置に設置してください。また、次に挙げる防爆構造に関わる場所には絶対に設置しないでください。
 1. 耐圧防爆構造
 2. 油入防爆構造
 3. 内圧防爆構造
 4. 安全増防爆構造
 5. 本質安全防爆構造
 6. 特殊防爆構造
- ・ 本製品の使用環境によっては消防法、電気通信事業法、労働安全衛生規則などが適用されます。関係する法令に従ってください。

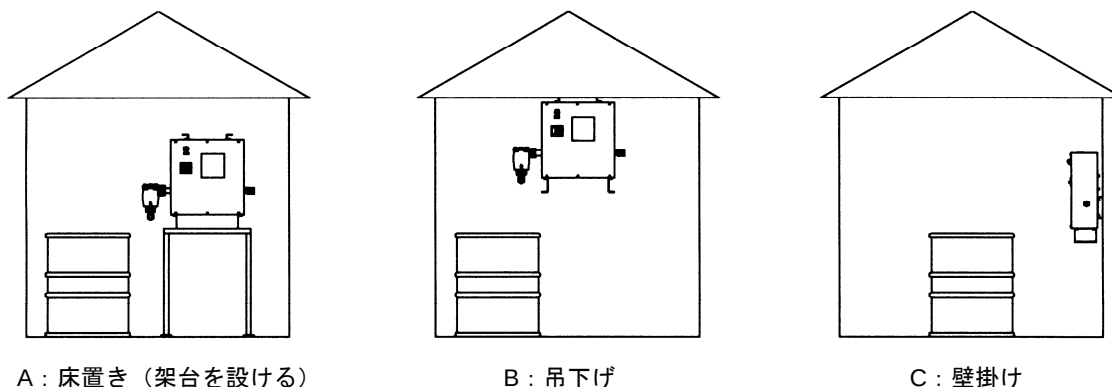


Fig. 1

<NOTE>

- ・ 吸込揚程は液面より上下 1m 以内になるようにしてください。
 - 1m 以下の場合、条件により吸込み不具合を起こし、作動音が大きくなることがあります。
 - 1m 以上の場合、条件により油漏れを起こすことがあります。
- ・ メンテナンスや修理のために、ポンプの周囲に作業が可能なスペースを確保してください。

- 2) 本製品の取付位置（平らな場所）にアンカーボルト（M8）を打ち込んでください。アンカーボルトの下穴はφ8.5のドリルを使用し、穴ピッチはFig. 1 及び Fig. 2 を参照してください。

床 置：A＝475 B＝120
吊下げ：A＝305 B＝120
壁掛け：A＝475 B＝120

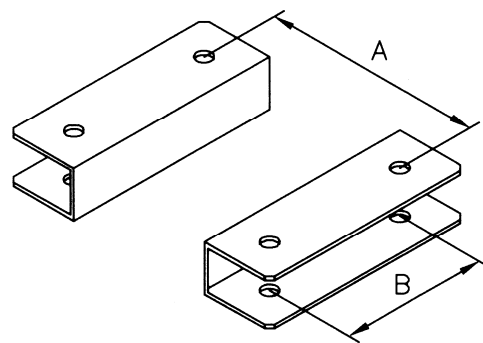


Fig. 2

3.3 アース線の設置

- 1) 本製品を設置する際には帯電を防ぐため、必ず指定箇所からアースを設置してください。指定箇所は Fig. 3 を参照してください。
- 2) 本製品の補器類や配管についても同様にアースを設置してください。
- 3) アース線は断面積 2.0mm² 以上のものを使用してください。

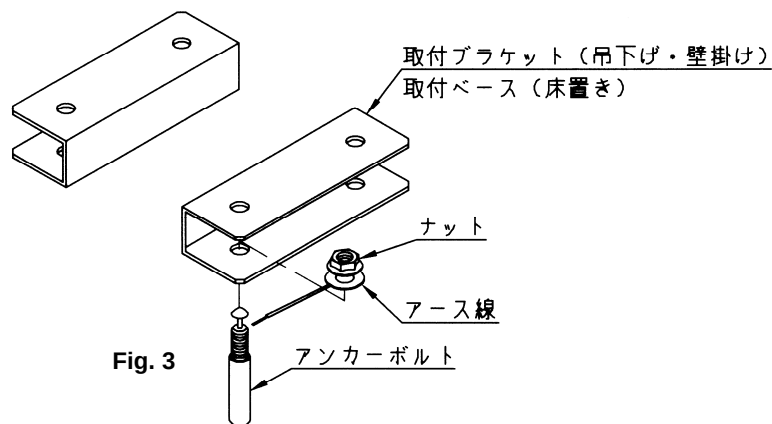


Fig. 3

警告



- 構成装置には必ずアース線を設置してください。アース線を設置しない状態で本製品を運転しますと漏電、移送材料の種類によってはケーシング内を流れる際の摩擦により、静電気が発生し、本製品が帯電する可能性があります。移送材料または設置場所の環境（雰囲気、設置物など）によっては火災、感電の原因となります。

4. 接続

4.1 本製品の口径

- ★ 材料吸込口径は G1、材料吐出口径は G3/4 です。
- ★ 本製品の材料吸込口、吐出口の位置については「1. 各部の名称」を参照してください。

4.2 材料配管 (Fig. 4)

- 1) 本製品の材料吐出側にメンテナンス用のバルブを接続してください。
- 2) 本製品の材料吸込側と移送元の配管を接続してください。
- 3) 本製品の材料吐出側バルブと移送先の配管を接続してください。
(本製品のアクセサリとしてホースリール、ガン、その他、各種取り揃えています。必要の際には「11. アクセサリ」を参照の上、お買い上げ販売店または弊社営業所までお問い合わせください。)

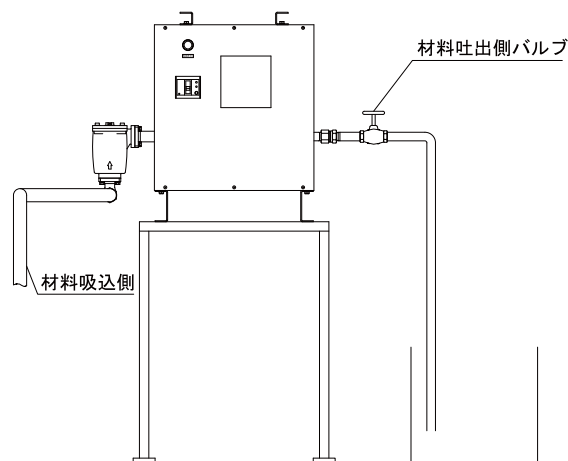


Fig. 4

⚠ 注意

- ! - 材料吐出側に設定圧力以上の圧力が掛かると材料吸込側にオイルがリリーフする構造になっています。
- ! - 材料吸込側に逆止弁などのバルブ類を設け、リリーフするオイルの流れを妨げると温度変化による管内膨張が起き、配管の弱い部分からオイル漏れが生じ火災や爆発事故の原因となります。また、ポンプ破損の原因となります。メンテナンス以外での材料吸込側に逆止弁などのバルブ類を接続しないでください。

<NOTE>

- ・ホースは屈曲性があり、アース線入りのものを使用してください。
- ・本製品の各接続部には外力が直接掛からないようにしてください。特にホース・配管類の自重に注意してください。
- ・吸込側ホースは本製品のサクションによってつぶれないものを使用してください。また、吐出側ホースの許容圧力に注意してください。
- ・配管（ホースを含む）は本製品の口径と同じか、それ以上のものを使用してください。口径の小さいものを使用しますとポンプ本来の性能が充分に発揮することができないだけでなく、ポンプの故障原因となります。
- ・移送する材料へのゴミや異なるオイルの混入を避けるため、本格的な使用前に共液洗浄を行ってください。

5. 操作

5.1 運転前準備

- 1) 本製品を運転する前に、各配管及びホースが正しく確実に接続されていることを確認してください。
- 2) 本製品の 3 相 200V 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

5.2 運転操作

- 1) 本製品のブレーカーを ON にしてください。
(ブレーカーの位置については、「1. 各部の名称」を参照してください。)
- 2) 吐出側に接続されている全ての開閉弁（バルブ、定量機、ガンなど）を開いてください。

注意



- 材料温度と環境温度の差は 40℃以下になるように調整してください。

<NOTE>

- ・本製品のブレーカーを ON にするとポンプが作動し、オイルを移送します。吐出側の配管が移送したい場所にあることを確認してください。

5.3 流量調整

- ★ 本製品単体での流量調整は行えません。流量調整を行いたい場合は、メンテナンス用のバルブ、定量機、ガンなどの流量調整ができる物を別に設けてください。（定量機、ガンなどのアクセサリ類を弊社にてご購入頂きましたお客様につきましては、ご購入頂きました製品に添付されている取扱説明書を参照し、流量調整を行ってください。）

5.4 運転停止

- ★ 本製品のブレーカーを OFF にしてください。（ブレーカーの位置については、「1. 各部の名称」を参照してください。）

注意



- 作業終了後及び夜間・休日には必ず本製品のブレーカーを OFF にし、配管内の圧力を抜いてください。ブレーカーを OFF にせず配管内に圧力がかかったままですと、パッキン、配管類の破損等により材料が漏れ、施設を汚染させるなどの二次災害が起こることがあります。二次災害については、使用者側の責任になります。

5.5 圧力の抜き方

- 1) 本製品のブレーカーが OFF になっていることを確認してください。
- 2) 吐出側に接続されている開閉弁（バルブ、定量機、ガンなど）を開いてください。

注意



- 加圧されたオイルは、バルブを開けた瞬間に吹き出しますので注意してください。



- 本製品は、運転を中断し接続してある配管を外しても本製品の機構上、内部にオイルが残留することがあります。また、長期間運転しない場合においても本製品及び接続している配管内にオイルが残留することがありますので、オイルを全て排出してから保管してください。

6. 保守・点検

- ★ ポンプ及び圧カスイッチの調整は部品単位にて行っています。お客様自身で調整や変更は行わないでください。また、「6.2 困ったとき」の項でポンプの故障と判断したときは、お買い上げの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- ★ 移送するオイルに不純物が混入しないようにサクシヨンフィルターを設けています。オイルの汚れや吐出量の減少を感じた際は「6.1 サクシヨンフィルターの清掃手順」を参照し、フィルターに付着している不純物を取り除いてください。

6.1 サクシヨンフィルターの清掃手順

- ★ サクシヨンフィルターの清掃を行う場合は、予め緩める箇所の下に受け皿やウエスなどを置き、オイルによる汚れを防ぐ処置を行ってください。

注意



- 清掃終了後はウエスを排除してください。ウエスを放置した状態で本製品を運転した場合、火災や事故の原因となります。



- オイルの種類によっては通電する場合がありますので、ブレーカー及びマグネットスイッチなどにオイルが絶対に掛からないようにしてください。



- サクシヨンフィルターに著しくゴミなどが付着すると、流量が減少します。定期的に清掃を行ってください。サクシヨンフィルターが目詰まりを起こすと、騒音が発生し、ポンプの破損、火災や事故の原因となります。

■ フィルターの取り外し (Fig. 5)

- 1) 本製品のブレーカーがOFFになっていることを確認してください。ONになっている場合はブレーカーをOFFにしてください。

注意



- 本製品ブレーカーがOFFの状態でも、一次側に電圧（200V）が流れている場合は感電などに注意してください。

- 2) サクシヨンフィルターの下に受け皿やウエスを置いてください。
- 3) サクシヨンフィルターの上部にある4本の六角穴付きボルト（M8）を緩め、キャップを外してください。
- 4) フィルターをサクシヨンフィルターの本体から取り出し、不純物を取り除いてください。

■ フィルターの取り付け (Fig. 5)

- 1) フィルターをサクションフィルターの本体に装着してください。
- 2) キャップをサクションフィルターの本体に被せ、4本の六角穴付きボルト (M8) で仮締め後、均一に締め込んでください。
- 3) 取り外しの際にオイルによる汚れを防ぐ処置をした、受け皿やウエスなどを排除してください。
- 4) フィルターの清掃や配管中の清掃などを行った場合、エアの混じりや吐出量の減少などが生じるため実作業前には必ず下記の a), b), c) の作業を実施してください。
 - a) 材料吐出口に空容器を設けてください。
 - b) 本製品のブレーカーを ON にしてください。
 - c) 材料吐出側のバルブを徐々に開き、オイル中にエアの混じりや不純物がなくなるまで吐出してください。

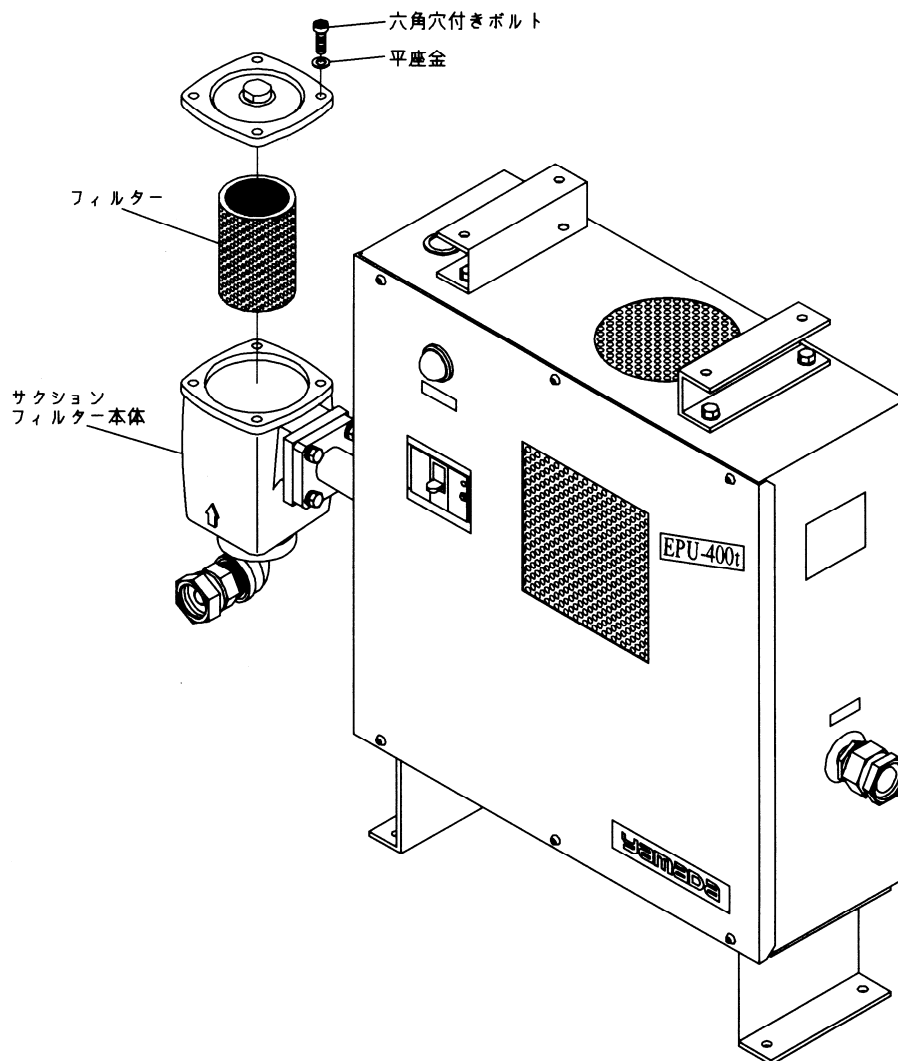


Fig. 5

6.2 困ったとき

トラブル内容	確認事項	原因	処置
ポンプが作動しない。	本製品と電源供給元、電気配線を行っているか。	①本製品と電源供給元、電気配線がされていない。	本製品と電源供給元、電気配線を行ってください。
	本製品の電源表示灯が点灯しているか。	②本製品のブレーカーがOFFになっている。(電源表示灯が消灯している)	本製品のブレーカーをONにしてください。(電源表示灯が点灯している)
		③本製品と電源供給元の電源コードの断線。	電源コードの交換を行ってください。
		④200Vの電圧が著しく低下している。	本製品ポンプのモーターを動かすには下記の電流値以上が必要です。電源供給元の容量が不足している場合はブレーカーの容量を上げてください。(交換が必要です) ■電流値 EPU-400t の場合 200V/50Hz=2.2A 200V/60Hz=2.0A ■EPU-750t の場合 200V/50Hz=3.6A 200V/60Hz=3.3A
		原因①・②及び③の何れにも該当しない。	モーターの故障と判断します。お買い上げの販売店または弊社営業所までご連絡ください。
オイルが出ない。	本製品ブレーカーと電源供給元の電気配線に誤りがないか。	電気配線の誤りにより、モーターが逆回転している。	配線をしなおしてください。
	オイル移送元のオイルの有無及び残量を確認してください。	オイル移送元のオイルが入っていないか、残量が減っている。	オイルを補給してください。
	配管中に設けた全ての開閉弁が開いているか。	配管中に設けた開閉弁が閉まっている。	配管中に設けた全ての開閉弁を開いてください。
	ポンプ使用中にオイルが突然出なくなり、停止状態になっているか。(この時表示灯は点灯しているか。)	圧力スイッチで設定した圧力以上の負荷がポンプに掛かり、マグネットスイッチが働き、モーターが停止した。	配管に関わる構成(長さ・口径・開閉弁の絞り具合)を調査し、原因を取り除く。 ■圧力スイッチ設定 作動停止: 2.4 MPa ポンプ作動復帰: 2.2 MPa
	購入時から一度もオイルが出ない。	オイルの粘度が高い、使用環境(寒冷地)が合っていない。	お買い上げの販売店または弊社営業所までご連絡ください。
オイルの吐出量が減った。	1ヶ月毎にサクションフィルター内の清掃をしているか。	サクションフィルターのフィルター部に不純物が溜まり、吐出量が減少した。	「6.1 サクションフィルターの清掃手順」の項を参照し、清掃を行ってください。
	定期的にオイルの補給を行っているか。	移送元のオイルが少なくなり、エアと一緒にオイルを吐出している。	移送元、オイルの補給を行ってください。

7. 分解・組立

- ★ ポンプの作動が不良・停止の状態になった場合は、不用意に分解せず「6.2 困ったとき」の項を参照して、その状況をよく判断し、必要以外の場所まで分解しないでください。

 警告	
	- ガソリンは揮発性の高い燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。引火・爆発の恐れがあります。
	- 本製品の分解・点検は、必ずブレーカーを OFF の状態にし、コンセントプラグがある場合はプラグを抜いてから吐出側のバルブを開き、本製品の圧力を開放にしてから行ってください。

8. 故障時の返品方法

8.1 FAX シートの使用方法

- ★ 「12. 不具合内容 FAX シート」をコピーして、故障の内容や使用条件などの必要事項をできるだけ詳しく記入して、お買い上げの販売店または弊社営業所まで送信してください。

8.2 返品前に

- 1) 本製品内のオイルを抜き、材料吸込口及び吐出口にキャップをし、オイルの流出を防ぐ処置をしてください。
- 2) 輸送中の振動から本製品の外観を守るための処置を行ってください。
(不要になった毛布、エアクッションなどを本製品に巻き付ける。)

 注意	
	- 本製品のオイル抜きが不完全なために発生したオイル漏れ事故は、荷送人の責任となります。
	- 輸送中の事故防止のため、ポンプ内からオイルの流出が絶対に起こらないようにしてください。

9. 本体仕様

9.1 主要諸元

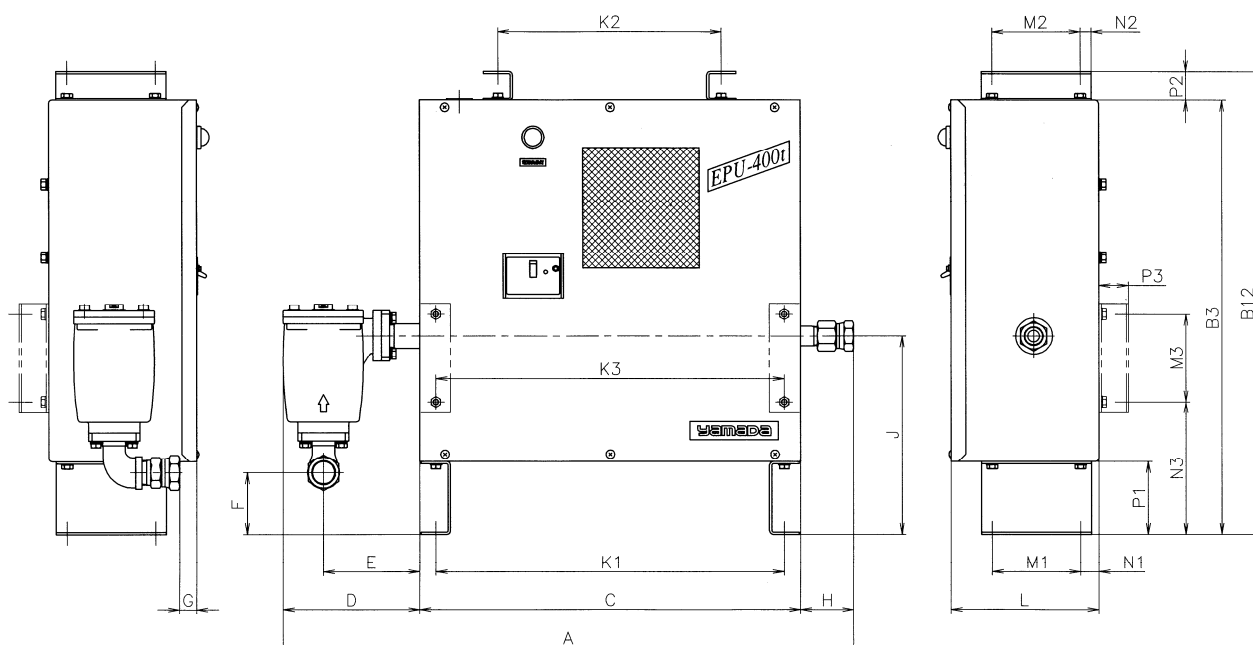
- ★ 次頁の主要データを作成に当り、使用したオイルは shell HELIX PREMIUM SW5-30、20℃を使用しています。
お客様が実際に使用するオイルの種類によって、吐出量などが異なる場合がございます。
例：使用するオイルの粘度が低いと、吐出量は増す傾向にあります。
- ★ 次頁の主要データはお客様が実際に使用する作業環境（配管・油温など）によって異なる場合がございます。
例：配管が細いとオイルの通る道が狭くなるため、吐出量は減少します。
- ★ 次頁の主要データはお客様が実際に使用する地域（東日本：50Hz／西日本：60Hz）によって異なる場合がございます。
例：本製品を東日本から西日本へ移設した場合、周波数の違いにより吐出量は増加します。

製品番号	881010	881011
型式	EPU-400t	EPU-750t
ポンプ	トロコイドポンプ（1基）	
定格電圧	3相 AC200V	
モーター出力	400 W	750 W
圧力スイッチ設定	ON : 2.4 MPa OFF : 2.2 MPa	
定格電流	50Hz : 2.2A、60Hz : 2.0 A	50Hz : 3.5A、60Hz : 3.2A
吐出量	5.8 L/min (50 Hz)	8.7 L/min (50 Hz)
質量	約 42 kg	約 49 kg
環境温度	-5~40℃	
材料温度	-5~60℃	
騒音 *1	70dB 以下	

*1 粘度が高い、または低温の場合、騒音が大きくなります。

9.2 外観寸法

★ 外観寸法は取付ブラケットまたは取付ベースの取付位置によって異なります。



★ 本製品を架台などに載せる場合

	EPU-400t	EPU-750t
A	(772)	(787)
B12	635	
C	519	
D	187	
E	132	
F	85	
G	23	
H	66	81
J	273	
K1	475	
L	201	
M1	120	
N1	25	
P1	100	

★ 天井などに吊下げる場合

	EPU-400t	EPU-750t
A	(772)	(787)
B12	635	
C	519	
D	187	
E	132	
F	85	
G	23	
H	66	81
J	273	
K2	305	
L	201	
M2	120	
N2	25	
P2	40	

★ 壁に固定する場合

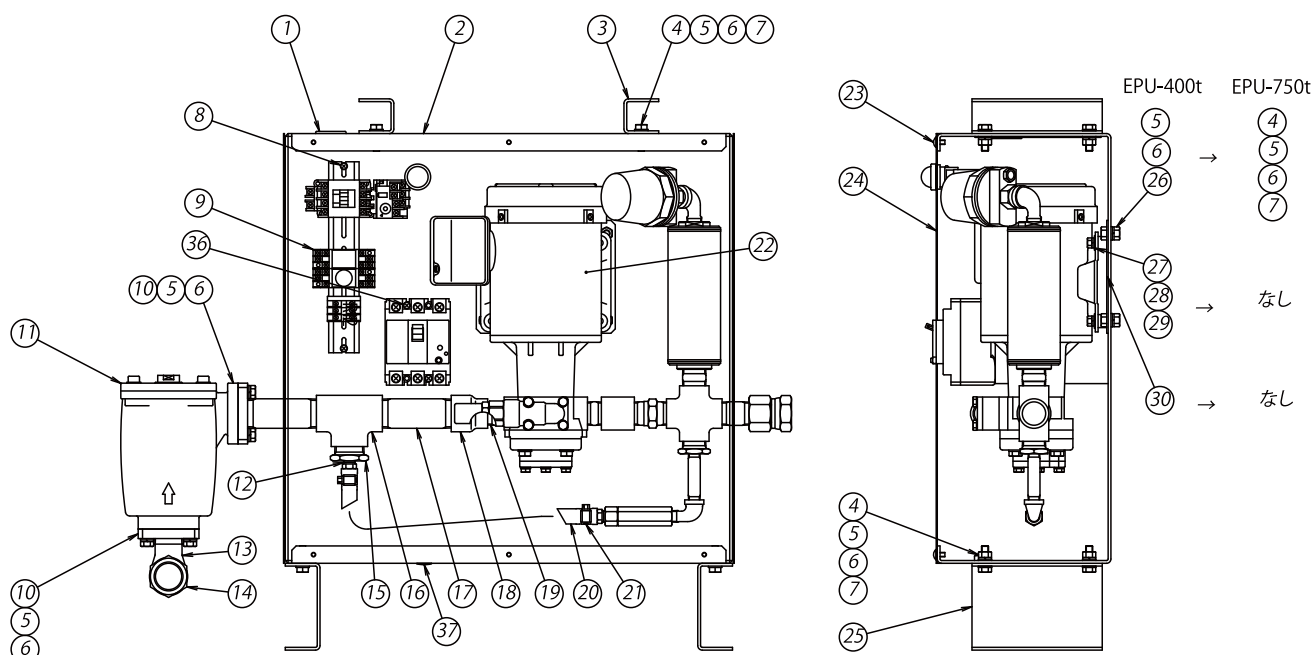
	EPU-400t	EPU-750t
A	(772)	(787)
B3	595	
C	519	
D	187	
E	132	
F	85	
G	23	
H	66	81
J	273	
K3	475	
L	201	
M3	120	
N3	183	
P3	40	

・上に付いていた取付ブラケットが

裏面に取付きます。

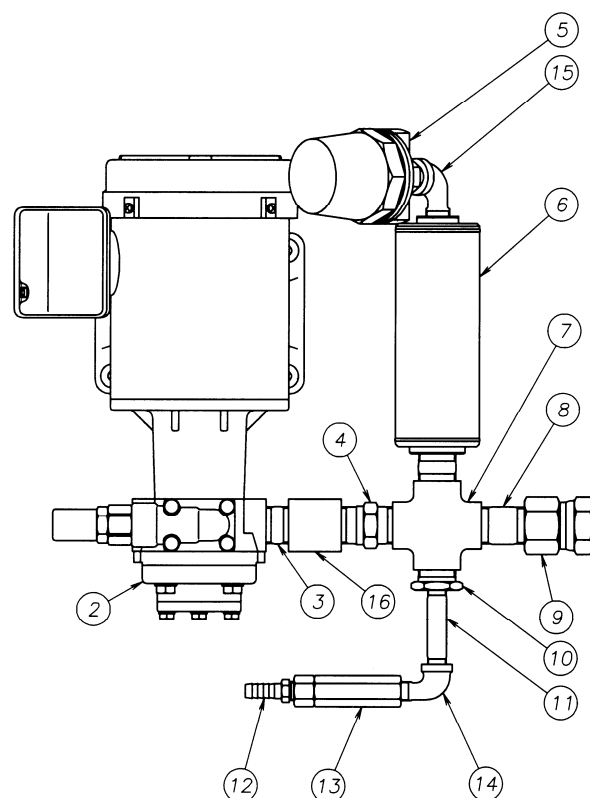
10. 部品構成図・パーツリスト

10.1 電動ポンプユニット



REF. No.	部品番号		部品名称	員数
	EPU-400t	EPU-750t		
1	684431	←	グロメット	1
2	832538	←	ボックス組立	1
3	713496	←	取付ブラケット	2
4	611149	←	ボルト	8(12)
5	631420	←	ばね座金	20
6	631013	←	平座金	28(32)
7	627012	←	ナット	8(12)
8	684160	←	ばね座平座付なべ小ねじ	2
9	685292	685293	制御ユニット	1
10	714013	←	フランジ	2
11	684771	←	サクシジョンフィルター	1
12	684261	←	タケノコ1/4	1
13	634035	←	ストリートエルボ	1
14	680083	←	ユニオンアダプター	1
15	634602	←	ブッシュ	1
16	634065	←	チーズ	1
17	684773	←	ロングニップル	2
18	634548	←	径違いソケット	1
19	634805	←	バレルニップル	1
20	570146	←	ホース	1
21	684259	←	ホースバンド	2
22	803752	803753	ポンプ組立	1
23	682885	←	トラス小ねじ	6
24	832539	←	蓋組立	1
25	714012	←	取付ベース	2
26	611145	——	ボルト	4
27	611099	——	ボルト	4
28	631418	——	ばね座金	4
29	631012	——	平座金	4
30	832540	——	ベース組立	1
36	602269	←	ナベコネジ	2
37	686155	←	ホールプラグ	1

10.2 ポンプ組立



REF. No.	部品番号		部品名称	員数
	EPU-400t	EPU-750t		
2	684419	684420	ポンプ	1
-	686379	686380	トロコイドポンプ(補修用)	-
3	634805	←	バレルニップル	3
4	684426	←	チャッキ弁	1
5	803805	←	圧力スイッチ組立	1
6	832230	←	チャンバー組立	1
7	634094	←	クロス	1
8	684428	684494	ロングニップル	1
9	680111	←	ユニオンアダプター	1
10	634599	←	ブッシュ	1
11	684567	←	ロングニップル	1
12	684261	←	タケノコ1/4	1
13	684496	←	チェックバルブ	1
14	634031	←	ストリートエルボ	1
15	634032	←	ユニオンアダプター	1

11. アクセサリー

- ★ 本製品にはオプションとして下記のアクセサリーをご用意しております。用途に合わせ、ご活用ください。
- ★ アクセサリーに関する詳細説明はヤマダ総合カタログに記載しております。ヤマダ総合カタログをお持ちでないお客様は、お買い上げ販売店または弊社営業所までお問い合わせください。

11.1 オイル用コントロールバルブ

部品番号	型 式
804536	プリセットバッチメーター
801428	ピストルグリップメーター
802765	デジタルグリップメーター
801429	ルブバッチメーター (60L)
802237	ルブバッチメーター (16L)
802238	ルブバッチメーター (30L)
850138	多容量オイルガン M (モーターオイル用)
850139	多容量オイルガン M (ギアオイル用)
851136	オイルガン 70L
851137	オイルガン 70T
851138	オイルガン 70M (流量計付)

11.2 ノズル

部品番号	型 式	部品番号	型 式
705387	ノズル P	801195	ノンドリップノズル H
801152	ノンドリップノズル P	801204	ギアオイル用ノンドリップノズル

11.3 液面コントロール機器

部品番号	型 式	部品番号	型 式
480007	Lo レベラーム	480008	Hi レベラーム

11.4 オイル用ホースリール

部品番号	型 式
N831689	HR-4G15 (15m)

11.5 サクションホース

部品番号	型 式
853287	サクション組立 (G1)

11.6 補修用部品

部品番号	部品名称
686379	トロコイドポンプ(EPU-400t 用)
686380	トロコイドポンプ(EPU-750t 用)

12. 不具合内容 FAX シート

★ 不具合・故障の原因を追求するために、及び修理サービスの充実を図るために必要となりますのでお手数ですが、下記のFAXシートに必要事項を記入して、弊社営業所宛てに送信してください。

不具合内容 FAX シート	
フリガナ	フリガナ
貴社名	ご担当者名
フリガナ	
ご住所	ご所属
	ご連絡先
	Tel. () - -
	Fax. () - -
製品名	型式
使用期間 20 年 月 ~ 年 月	SERIAL No. (LOT No.)
運転条件 ☐ 屋内 ☐ 屋外	購入年月日
運転頻度 ☐ 連続	
☐ 断続 hr / 日・週・月	購入販売店
吐出圧力 MPa	移送材料種類
吐出量 L / min.	比重 粘度 Pa・s
揚程 吸込側 m 吐出側 m	液温 °C
ポンプの状態（不具合の内容）	
アプリケーション略図をお書きください。 （配管サイズ、長さ及び構成部品など）	

13. 製品保証登録 FAX シート

★ お手数ですが、下記の FAX シートをコピーして必要事項をご記入の上、弊社宛てにご送信ください。
(フリガナ指定の箇所は、必ずご記入ください。)

製品保証登録 FAX シート																													
フリガナ	フリガナ																												
貴社名 _____	ご担当者名 _____																												
フリガナ																													
ご住所 _____	ご所属 _____																												
	ご連絡先																												
	Tel. () _____																												
	Fax. () _____																												
■ 貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。 <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____）</td> </tr> </table>			1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																											
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																											
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																											
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																											
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																											
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																											
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																											
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																											
25. その他（詳しくご記入ください。 _____）																													
■ 本製品をお知りになったきっかけを○で囲んでください。 <table border="0"> <tr> <td>新聞</td> <td>1. 日刊工業新聞</td> <td>2. 日本工業新聞</td> <td>3. 日経産業新聞</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4. 日刊自動車新聞</td> <td>5. 燃料油脂新聞</td> <td>6. その他の新聞</td> </tr> <tr> <td>雑誌</td> <td>7. IEN</td> <td>8. IPG</td> <td>9. 化学装置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10. 販売員に薦められて</td> <td>11. 展示会</td> <td>12. カタログで</td> </tr> </table>			新聞	1. 日刊工業新聞	2. 日本工業新聞	3. 日経産業新聞		4. 日刊自動車新聞	5. 燃料油脂新聞	6. その他の新聞	雑誌	7. IEN	8. IPG	9. 化学装置		10. 販売員に薦められて	11. 展示会	12. カタログで											
新聞	1. 日刊工業新聞	2. 日本工業新聞	3. 日経産業新聞																										
	4. 日刊自動車新聞	5. 燃料油脂新聞	6. その他の新聞																										
雑誌	7. IEN	8. IPG	9. 化学装置																										
	10. 販売員に薦められて	11. 展示会	12. カタログで																										
ご購入年月日	_____年 _____月 _____日	ご購入目的 _____																											
ご購入販売店		ご使用条件																											
製品名（型式）		1. 取扱材料（材料） _____																											
製品番号		2. 流量（吐出量） _____																											
SERIAL No.		3. 吐出圧力 _____																											
LOT No.																													

宛先

株式会社 ヤマダコーポレーション

営業部 製品保証登録係

TEL. 03-3777-4101

FAX. 03-3777-3328

14. 警告表示マーク



高温注意



感電注意



毒



燃えやすい



爆 発



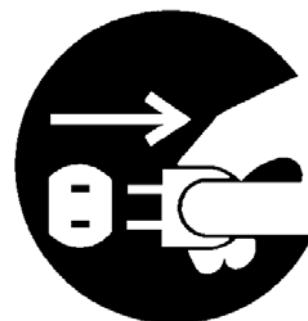
一般的な警告・注意



水濡れ注意



触れるな危険



電源を抜いて

15. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起きました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1. 保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。
2. 保証内容：期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。
3. 適用除外：期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
 - (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
 - (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
 - (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な材料を使用されて生じた故障。
 - (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
 - (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
 - (6) 指定外の電源（電圧）で使用された場合の故障
 - (7) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
 - (8) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
 - (9) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。
 - (10) 定格値を超える電源にて使用された事により発生した故障及び損傷。
 - (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用された場合の故障。
 - (12) 日本国外においてご使用の場合。尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。
 - ・ ホース類 ・ 各種パッキン類 ・ コード類
4. 補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

MEMO.

製品に対するお問い合わせは、下記営業所をお願い致します。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL (03) 3777-3171 (代)	FAX (03) 3777-3328
札幌営業所	〒062-0002 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号	TEL (011) 821-0630 (代)	FAX (011) 821-0949
仙台営業所	〒981-3137 宮城県仙台市泉区大沢 2 丁目 2 番 3 号	TEL (022) 343-9410 (代)	FAX (022) 343-9411
東京営業所	〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL (03) 3777-3171 (代)	FAX (03) 3777-6770
名古屋営業所	〒463-0052 名古屋市中山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号	TEL (052) 795-0222 (代)	FAX (052) 795-0444
大阪営業所	〒536-0021 大阪市城東区諏訪 1 丁目 2 番 20 号	TEL (06) 6967-5301 (代)	FAX (06) 6967-0497
広島営業所	〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央 3 丁目 3 番 9 号	TEL (082) 275-5852 (代)	FAX (082) 275-5853
福岡営業所	〒812-0888 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号	TEL (092) 581-5477 (代)	FAX (092) 581-6524
YAMADA AMERICA Inc.	955 E.ALGONQUIN RD., ARLINGTON HEIGHTS, IL 60005,USA		TEL 1-847-631-9200
YAMADA EUROPE B.V	Aquamarijnstraat 50-7554 NS Hengelo(O), The Netherlands		TEL 31-0-74-242-2032
雅玛达(上海)泵业贸易有限公司	上海市浦东新区金桥路 2690 弄 48 号 7 号门		TEL 86-21-3895-3699